

日刊建設工業新聞（2021年12月7日付3面掲載）

【オリコンサル 仙台駅東口に次世代モビリティ駐輪拠点】

仙台駅東口に次世代  
モビリティ駐輪拠点

オリコンサル

オリエンタルコンサルタ  
ンツは、交通利便性の向上  
を目指して仙台駅東まちづ  
くり協議会（松坂卓夫理事  
長）らが推進している社会  
実験に参画する。仙台駅東  
口エリアの公共空間に電動  
自転車などの駐輪拠点（共  
同ポート）を11月26日に開  
設した。駅利用者の回遊性  
を検証し駅周辺で計画する  
街づくりの施策立案に役立  
てる。実験期間は2022

年度末までを予定する。

社会実験の対象は仙台駅  
東口駅前広場を起点に東西  
を結ぶ宮城野通（延長約1

・5キロ）。沿道にある東北  
福祉大学仙台駅東口キャン  
パス（宮城野区）に共同ポ  
ート「E-COM Sta  
tion」を1カ所設置し  
た。共同ポートには休憩施  
設や無線LANなども完備  
する。

駅利用者に電動自転車や  
電動キックスケーターとい  
ったモビリティを貸し出し  
人工知能（AI）を搭載し  
たカメラで撮影。駅周辺の  
回遊性や利便性がどう向上  
するのかを見る。オリコン  
サルは社会実験で得た知見  
を生かし、注力する駅周辺  
の街づくりや地方創生に役  
立てる考えだ。